

# 令和2年度 大池中学校 2年生シラバス

☆学習のねらい

☆評価の観点および方法

☆学習計画

☆学習方法についての

アドバイス

## 目 次

国 語	・ ・ ・ ・ ・	1 ~ 3
社 会	・ ・ ・ ・ ・	4 ~ 8
数 学	・ ・ ・ ・ ・	9 ~ 10
理 科	・ ・ ・ ・ ・	11 ~ 13
音 楽	・ ・ ・ ・ ・	14 ~ 15
美 術	・ ・ ・ ・ ・	16 ~ 17
保健体育	・ ・ ・ ・ ・	18 ~ 19
技 術	・ ・ ・ ・ ・	20 ~ 21
家 庭	・ ・ ・ ・ ・	22 ~ 23
英 語	・ ・ ・ ・ ・	24 ~ 26

大池中学校	2学年	国語
-------	-----	----

### 1. 学習のねらい

学習のねらい	(1) 様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解する能力を高めるとともに読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。 (2) 自分の考えをまとめる確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。 (3) 目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。 (4) 文字の配置やバランスを考えて書く能力を高めるとともに、読みやすい字を正しい筆順で書くこととする態度を育てる。	
使用教材	教科書 国語2 (光村図書) 書いておぼえる漢字ノート2 (あかつき) つまずかない! 文法の学習 (新学社) 作文ノート (とうほう)	新編 新しい書写 1, 2, 3年生用 (東京書籍) 基礎の学習 国語 2年 (新学社) 国語便覧 (浜島書店)

### 2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
国語への関心 意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語の授業に積極的に参加し、授業中の話を集中して聞き、意見を言うことができる。</li> <li>授業に関したことに興味・関心を持ち、自主的に学習を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の観察 (態度・発表など)</li> <li>ワーク・ノート・作品などの提出状況と出来栄</li> <li>古典作品などの暗唱</li> <li>自己評価</li> </ul>
話す・聞く 能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを大切にし、聞き手にわかりやすく伝えようとする。</li> <li>話し手の考えを自分の考えと比べながら聞き取ろうとする。</li> <li>詩や文章を工夫して朗読しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価、相互評価、教師の評価</li> <li>発表や意見の内容</li> <li>聞き取りテスト</li> <li>音読テスト</li> </ul>
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えが相手に伝わるような文章を書くこととする。</li> <li>テーマに沿って自分の考えをまとめ文章に書き表そうとする。日本語を正しく書いたり、きれいにまとめたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題作文・感想文</li> <li>定期テスト</li> <li>ノートの記述</li> </ul>
読む能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の構成や展開・表現に注意して読もうとする。</li> <li>文章に表れているものの見方や考え方をつかみ、自分の考えをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>提出作品、プリントの内容</li> </ul>
言語について の知識・ 理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の読み書きができる。</li> <li>ことばのきまりがわかる。</li> <li>文字を丁寧に正確に書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>漢字や文法、語句等の小テスト</li> <li>書写の課題作品</li> </ul>

### 3. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備物・提出物を整え、チャイムと同時に漢字テストの学習に取り組もう。</li> <li>授業に集中して取り組み、人の意見をしっかり聞き、自分の意見を進んで発表しよう。</li> <li>板書は丁寧にノートにまとめ、配布されたプリント類を整理しよう。</li> <li>朝の読書に落ち着いて取り組もう。</li> </ul>
----	--

家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を繰り返し、音読しよう。</li> <li>新出漢字の予習復習をしよう。</li> <li>わからない言葉の意味を国語辞典で調べよう。</li> <li>授業内容の復習をしよう。(ワークを自主的に進めていこう。)</li> </ul>		
	月	単元名	観点別評価の具体例
1 学 期	4	・詩「見えないだけ」	・作者のものの見方や感じ方を捉える。好きなことばや表現を見つけ、詩を味わう。また作者の思いを考えて詩を朗読する。
	6	・小説「アイスプラネット」	・話の展開に沿って登場人物の言動や心情を表す表現に気付く。そこから心の通い合いや心情の変化を読み取る。また、作品を読んで自分なりの考えを持つ。
		・古文 「枕草子」	・「古典」の原文を声に出して読み、ことばの響きや調子を楽しむ。描かれている内容と現在の自分の生活や感じ方を比較する。
		・漢字「熟語の構成」	・自分なりの視点で書くことができる。
	7	・説明文「生物が記録する科学」 ～バイオロギングの可能性～	・熟語の構成の種類について理解する。
2 学 期		・説明のしかたを工夫する 「魅力的な提案をしよう」	・文章における具体的な事例の役割を理解する。
		・短歌、解説「新しい短歌のために」	・文章全体と部分の関係を理解し、作者の主張を読み取る。
		・短歌「短歌を味わう」	・目的や相手に応じた表現ができるように必要な情報を整理する。
	8	・情報「メディアと上手に付き合うために」 ・言葉「対義語・類義語」	・伝えたい事柄が効果的に伝わるように説明のしかたを工夫する。
	9	・文法「単語をどうわける」 ・文法「走る。走らない。走ろうよ。」	・語の意味を正確に理解する。
	・随筆「言葉の力」	・短歌とはどのようなものかを理解する。	
	10	・小説「盆土産」 ・随筆「字のないはがき」	・筆者のものの見方や表現の仕方を味わう。
		・説明文「モアイは語る」	・声に出して読み、言葉遣いや調子を味わい、短歌の世界に親しむ。
		・言葉「敬語」	・共感する作品を選び、読み慣れ、短歌の表現の美しさを実感する。
			・さまざまなメディアの特徴を知り、適切な情報を選んで活用する。
			・対義語、類義語の特徴、具体例を理解する。
			・一年生の既習事項を確認し、自立語について理解する。
			・自立語の品詞分類ができる。
			・動詞、形容詞、形容動詞の活用について理解する。
			・文章に書かれたエピソードなどに注目しながら、筆者のことばに対する考え方を読み取る。自分たちの体験を通して、ことばに対する考え方を深め合う。
			・登場人物の描写に着目して、それぞれの人柄や心情を読み取る。
			・作品に描かれている優しさや暖かさを、表現より読み味わう。
			・文章の構成や文章中に述べられている事実や根拠に注意しながら、筆者の意見を読み取る。
			・筆者のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。
			・敬語の種類と使い方を理解する。

3 学 期	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字「同じ訓・同じ音を持つ漢字」</li> <li>古文・音読「平家物語」</li> <li>古文「扇的的」 「仁和寺にある法師」</li> <li>漢文「漢詩の風景」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同訓で意味・用法の異なる漢字と同音で意味・用法の異なる漢字に注目する。</li> <li>「古典」の原文を声に出して読み、ことばの響きや調子を楽しむ。</li> <li>歴史的仮名遣い、語形、助詞の省略、係り結びなど、古典の文章の特徴に慣れる。</li> <li>語句の意味や時代背景を捉えながら、内容を把握する。</li> <li>古文で描かれている内容と現在の自分の生活や感じ方を比較する。</li> <li>漢詩を読む際の基本的な決まりごとを理解し、読めるようになる。</li> </ul>
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>書道「字形の整え方、配列・配置」</li> <li>評論「君は最後の晩餐を知っているか」</li> <li>推敲して適切な文章に直す 「気持ちを込めて書こう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書で四字を美しくまとめ、字の形や中心などのバランスを知る。</li> <li>使われている語句や表現の工夫に注意しながら、筆者のものの見方や考え方を読み取る。</li> <li>筆者の絵画の見方について、自分の知識や体験と関連づけて考えをまとめる。</li> <li>伝えたい内容を明確にし、気持ちや用件が的確に伝わるように表現や構成を工夫する。</li> <li>手紙の基本的な書き方を知り、相手や目的に応じた手紙を書く。</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手の考えを踏まえて発言する 「話し合って考えを広げよう」</li> <li>意見文の説得力を考える 「根拠を明確にして意見を書こう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>司会や発表者などの役割を決め、目的に沿って討議する。</li> <li>相手の意見や考えを尊重し、互いの発言を比較・検討しながら自分の考えを広げる。</li> <li>社会生活の中から課題を決めて、情報を集め、自分の意見をもつ。</li> <li>自分の意見と根拠を明確にして、文章構成を工夫して書く。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説「走れメロス」</li> <li>文法「一字違いで大違い」</li> <li>書く「表現のしかたを工夫して書こう」</li> <li>言葉「方言と共通語」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ストーリーの展開を捉え、作品の構成を理解する。</li> <li>描写や会話に注目し、登場人物の心情の変化を読み取り、その生き方に共感する。</li> <li>名作を知り、文学作品を読むきっかけとなる。</li> <li>付属語について理解する。／助詞、助動詞の種類と用法を知る。</li> <li>場面の様子や人物の気持ちが効果的に伝わるように、描写を工夫して書く。</li> <li>書いた文章を互いに読みあい、意見や感想を交流し、自分の表現に役立てる。</li> <li>方言と共通語について、それぞれの特徴や役割、場面に応じた使い分けなどを理解する。</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字「送り仮名」</li> <li>話す、聞く、書く 「1年間の学びを振り返ろう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送り仮名の付け方の原則を理解する。</li> <li>資料や機器などを効果的に活用して、自分の考えの要点を簡潔に説明する。</li> <li>互いの考えについて意見を述べたり助言をしたりしながら、自分の考えを広げ、文章に生かす。</li> </ul>

大池中学校	2学年	社会
-------	-----	----

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>&lt;地理的分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し、理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。</li> </ul> <p>&lt;歴史的分野&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解させ、それを通して我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。</li> </ul>
使用教材	<p>教科書 中学生の地理(帝国書院) 新しい社会 歴史(東京書籍)</p> <p>地図帳 中学校社会科地図(帝国書院)</p> <p>副教材：アクティブ地理(浜島書店)、学び考える歴史(浜島書店)</p> <p>問題集：社会の自主学習地理2(新学社)、社会の自主学習歴史2・3(新学社)</p>

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①社会的事象への関心・意欲・態度	<p>&lt;地理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本や世界の地理的事象に対する関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。</li> </ul> <p>&lt;歴史&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本や世界の歴史的事象に対する関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習態度(忘れ物、発言等を含めて)</li> <li>提出物(ワーク、ノート、プリント)</li> <li>夏休みの課題(郷土研究、新聞スクラップ)</li> </ul>
②社会的な思考・判断・表現	<p>&lt;地理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本や世界の諸地域を比較し、関連付けて考察し、構成に判断することができる。</li> </ul> <p>&lt;歴史&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>社会的な事象から課題を見つけ、その因果関係をとらえ、広い視野から公正に判断できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業での取り組み(発言など)</li> <li>提出物(ノート、プリント)</li> <li>課題研究(郷土研究、新聞スクラップなど)</li> <li>定期テストや小テスト</li> </ul>
③資料活用の技能	<p>&lt;地理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な資料を適切に選択、活用して、地理的事象を多面的・多角的に考察し適切に表現できる。</li> </ul> <p>&lt;歴史&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種資料に親しみ、効果的に活用するとともに、考察した結果をまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業での取り組み(発言など)</li> <li>提出物(ノート、プリント)</li> <li>課題研究(郷土研究、新聞スクラップなど)</li> <li>定期テストや小テスト</li> </ul>
④社会事象についての知識・理解	<p>&lt;地理&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地理的事象について理解し、その知識を正しく身につけている。</li> </ul> <p>&lt;歴史&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的事象について理解し、その知識を正しく身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期テスト</li> <li>小テスト</li> </ul>

### 3. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の話や友達の意見をしっかり聞こう。</li> <li>・授業に必要なものを忘れずに準備しておこう。</li> <li>・自分の意見を持ち、積極的に発表しよう。</li> <li>・様々な資料（地図・図絵・表・グラフ・史料など）をじっくり読み、わかることを考えよう。</li> <li>・班での話し合いや作業の時間を大切にしよう。</li> <li>・ノートはあとで見返すときのために丁寧に書こう。</li> <li>・わからないことは積極的に質問しよう。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した範囲を教科書やノート、プリントやワークでくり返し復習しよう。</li> <li>・わかったことを自分のことばでノートにまとめよう。</li> <li>・わからない用語や、興味がある事については積極的に自分で教科書や資料集を使って調べよう。</li> <li>・毎日、できるだけニュースや新聞をチェックするように心がけよう。</li> </ul>

### 4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学期	<b>歴史的分野</b> 第3章 「中世の日本」 1 節 武士の台頭と鎌倉幕府 2 節 東アジア世界とのかかわりと社会の変動	①武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわりに対する関心を高め、意欲的に学習している。日本の伝統文化に対する関心を高め、今日に残る中世の文化や文化財を尊重しようとしている。 ②武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわり、文化の特色などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を東アジア世界とのかかわりを背景に理解し、その知識を身に付けている。また中世の文化の特色と、その中に現在に結びつくものがみられることに気づき、その知識を身に付けている。 ①近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追究している。武将や豪商の文化、町人文化や各地方の生活文化に対する関心を高め、今日に残る文化的遺産を尊重している。政治・経済・外交・文化などの面で活躍した近世の人物に対する関心を高め、その生涯や業績を調べている。 ②近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開から課題を見だし、世界の動きと時代の特色とを関連させて多面的・多角的に考察し公正に判断している。産業・交通の著しい発達と政治や文化の動きとの関連を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に関する図版、史料、年表、歴史地図などの様々な資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。近世の日本の動きを政治・経済・外交・文化などの項目に分けて、情報を適切に選択して年表



<p>2 学期</p>	<p>3章「日本の諸地域」 1九州地方 2中国・四国地方 3近畿地方 4中部地方 5関東地方 6東北地方 7北海道地方</p> <p><b>歴史的分野</b> 第4章「近世の日本」 第1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一</p> <p>第2節 江戸幕府の成立と鎖国</p> <p>第3節 産業の発達と幕府政治の動き</p>	<p>①日本の諸地域の地域的特色に対する関心をもち、それを意欲的に追究し、捉えようとする。</p> <p>②日本の諸地域の地域的特色を、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかを中核とした考察の仕方をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。</p> <p>③日本の諸地域の地域的特色に関するさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりすることができる。</p> <p>④日本の諸地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結びつきのいずれかを中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。</p> <p>①・近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追究している。 ・武將や豪商の文化、町人文化や各地方の生活文化に対する関心を高め、今日に残る文化的遺産を尊重している。 ・政治・経済・外交・文化などの面で活躍した近世の人物に対する関心を高め、その生涯や業績を調べている。</p> <p>②・近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開から課題を見だし、世界の動きと時代の特色とを関連させて多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 ・産業・交通の著しい発達と政治や文化の動きとの関連を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③・近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に関する図版、史料、年表、歴史地図などの様々な資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。 ・近世の日本の動きを政治・経済・外交・文化などの項目に分けて、情報を適切に選択して年表などにまとめている。</p> <p>④・近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開を、日本の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。 ・産業・交通が著しく発達し、町人文化や各地方の生活文化が形成されていった様子を、身近な地域の歴史的事象との関連で理解し、その知識を身に付けている。</p>
<p>3 学期</p>	<p>第5章「開国と近代日本の歩み」 第1節 欧米の進出と日本の開国</p> <p>第2節 明治維新</p>	<p>①近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国とのかかわりに留意しながら、意欲的に追究している。</p> <p>②近代日本が形成されていく過程を、国際情勢や国内の動きから多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現している。</p> <p>③近代日本が成立していく過程を、図版、史料、年表、歴史地図などの近代に関する様々な資料を活用し、追究した結果を読み取ったりまとめたりしている。</p>

	<p>第3節 日清・日露戦争と近代産業</p>	<p>④・開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を、欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の国際的地位が向上したことや近代産業の発展したこと、近代文化が形成されたことを理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>
--	-------------------------	---

大池中学校	2学年	数 学
-------	-----	-----

### 1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>(1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を養う。</p> <p>(2) 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性和意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。</p> <p>(3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。</p> <p>(4) 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。</p>
使用教材	<p>教科書：未来へひろがる数学2（啓林館）</p> <p>問題集：完成問題集（三泗中学校数学研究会）</p> <p>問題集（啓林館）</p>

### 2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
① 数学への関心・意欲・態度	様々な事象を数量や図形などでとらえたり、それらの性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の取り組みの様子</li> <li>提出物や宿題、忘れ物</li> <li>ノートの記述 など</li> </ul>
② 数学的な見方や考え	数量、図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を数学的な推論の方法を用いて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートの記述内容</li> <li>テストや小テスト など</li> </ul>
③ 数学的な技能	文字を用いた四則計算ができ、数量の関係や法則を方程式などを用いて表現し処理したり、図形の性質について簡潔に表現したり、関数関係を的確に表現したり、確率を求めたりするなど、技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>テストや小テスト など</li> </ul>
④ 数量や図形などについての知識・理解	文字式のはたらき、連立二元一次方程式、平面図形の性質、図形の証明の必要性和意味及びその方法、一次関数の特徴、確率の必要性和意味などを理解し、知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>テストや小テスト など</li> </ul>

### 3. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。</li> <li>授業中は先生の話や友達の意見を集中して聞こう。</li> <li>出された問題は、まずは自分の力で取り組んでみよう。わからなかったり、自信が持てなかったりしたら、友達や先生に必ず質問するようにしよう。</li> <li>疑問に思ったことや納得できなかったことは、授業の中で解決できるように質問しよう。</li> <li>グループでの活動には積極的に参加し、自分の意見を持ったり疑問を解決するなど自信を深めるようにしよう。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題は必ず家でするようにしよう。</li> <li>授業があった日は毎回30分間、自主学習するようにしよう。 自主学習としては『授業でやった問題をもう一度解く』『授業で進んだ範囲を復習する』『ノートに授業のまとめをする』『ノートに自分の考えを記入する』『宿題以外の練習問題を解く』などを行い、分からない所をなくし、理解を深めていきましょう。また、教科書を読んで予習することも有効です。</li> <li>定期テストに向けて、計画的に勉強をすすめよう。 (小テストや授業で取り組んだプリントを有効に活用しよう)</li> <li>定期テスト・実力テストでミスをした問題は、説明を聞いたり、解説を見たりしてもう一度解き、次出題されたら必ず解けるようにしておこう。</li> <li>完成問題集や問題集などの提出物は、期日までに計画的に取り組もう。</li> </ul>

#### 4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
4月～6月	第1章「式の計算」 ・式の加法、減法 ・いろいろな多項式の計算 ・単項式の乗法、除法 ・文字式の利用	① 同類項をまとめる計算や多項式の四則計算を手際よくしようとしたり、身の周りの数量の関係を文字を用いた式を使って進んで明らかにしようとしたり、その性質や関係を見いだしたりするなど、数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に数学の問題の解決に取り組んでいる。 ② 1年で学んだ計算をもとに、多項式の四則計算のしかたを考え、導くことができる。数量の関係や数の性質を予想し、文字式を使って考え、その過程を振り返ることができる。 ③ 簡単な多項式の四則計算や式の変形が手際よくできる。また、式を簡単にしてから式の値を求めることができる。数量の関係を文字式に表したり、目的に応じて等式を変形することができる。 ④ 用語の意味や四則計算を、1年で学習した計算と関連づけて理解している。文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明でき、知識を身につけている。
	第2章「連立方程式」 ・連立方程式とその解 ・連立方程式の解き方 ・連立方程式の利用	① 様々な事象を連立二元一次方程式、連立方程式でとらえ、加減法や代入法で手際よく解こうとする。連立方程式を利用して問題を解決しようと取り組んでいる。 ② 連立方程式を導き、その解について考えることができる。また、加減法や代入法の解き方の共通点や相違点を考えたり、連立方程式を利用して問題を解決することができる。 ③ 連立方程式の解かどうかを手際よく確かめることができる。また、加減法や代入法によって連立方程式をスムーズに解くことができる。 ④ 二元一次方程式の必要性和意味及びその解の意味、解き方を理解している。
7月～9月下旬	第3章「一次関数」 ・一次関数の意味 ・一次関数の値の変化 ・一次関数のグラフ ・一次関数の式を求めること ・方程式とグラフ ・連立方程式とグラフ ・一次関数の利用	① 身の周りの事象の中から一次関数を見出し、表、式、グラフで表したりするなど、数学的に考え表現しようとしている。また、一次関数の式や変化の割合、グラフ、交点の座標等、手際よく求めようとする。 ② 事象の中から一次関数の関係を見出し、変化や対応の様子をとらえることができる。また、グラフの特徴からかき方についてまとめたり、傾きや切片、通る点などをもとに式を求める方法がわかる。一次関数を利用して、問題を解決することができる。 ③ 変化の割合や一次関数のグラフ、式を手際よく求めたりかいたりすることができる。2直線の交点を連立方程式を使って求めることができる。 ④ 一次関数の意味や変化の割合、グラフ、式、二元一次方程式のグラフの意味等を比例や反比例と関連付けて理解している。
10月上旬～1月	第4章「図形の調べ方」 ・角と平行線・多角形の角 ・三角形の合同・証明とその仕組み・証明の進め方  第5章「図形の性質と証明」 ・二等辺三角形・直角三角形の合同 ・平行四辺形の性質 ・平行四辺形になる条件 ・長方形、ひし形、正方形 ・平行線と面積	① 「対頂角は等しい」などのことから多角形の内角の和、外角の和などを予想し、その理由を考えようとしている。三角形や直角三角形の合同条件を使って図形の性質を証明し、その結果をふりかえって考えようとしている。また、二等辺三角形や平行四辺形の性質を利用して解こうとしている。 ② 「対頂角は等しい」などのことから多角形の内角の和、外角の和などを予想し、その理由を考えることができる。根拠をもとに仮定から結論を導くことができる。三角形や直角三角形の合同条件を使って図形の性質を証明することができる。平行線と面積の関係をもとに、ある図形と面積の等しい図形をつくることができる。 ③ 対頂角、同位角、錯角の大きさや三角形の内角・外角、多角形の内角の和・外角の和などを求めることができる。仮定や結論などを記号を用いて的確に表すことができる。図形の辺や角、合同な三角形の関係、いろいろな図形の定義や性質などを、記号を用いて的確に表すことができる。平行線と面積の関係を用いて、面積が等しい図形をみつけることができる。 ④ 平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形や直角三角形の合同条件、図形の証明の必要性和意味及びその方法などを理解している。証明の進め方と、その結果導かれた図形の性質を理解している。面積を変えずに図形の形を変える方法を理解している。
2月～3月	第6章「確率」 ・起こりやすさと確率 ・確率の求め方 ・いろいろな確率 第7章「箱ひげ図とデータの活用」	① いろいろなことから、樹形図などを用いて場合の数や確率を求めようとしている。 ② 実験や調査結果をもとに不確定な事象の起こりやすさの傾向について判断することができる。また、樹形図等を的確に用いて場合の数や確率を求める方法を導くことができる。 ③ 起こり得る場合を順序よく整理して、場合の数や確率を的確に求める事ができる。 ④ 不確定な事象の起こる程度を数を用いて表すことができることと、確率の必要性和意味などを具体的な事象と関連付けて理解している。また、それを求める方法を理解している。 ⑤ 箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断し、問題を解決できるようにする。

## 1. 学習のねらい

学習のねらい	理科 の 目 標	<p>①自然の事物や現象に対して関心を持ちましょう。          ②目的意識をもって観察や実験を行い、科学的に調べる能力を身につけましょう。          ③自然の事象や現象について理解を深めましょう。          ④科学的な見方や考え方を身につけましょう。</p>
<p>理科学習のねらいは自然の事物や現象に関心を持ち、その中から問題を見つけ、探求活動を通して、「自分の力で解決する力」を持つようになることです。観察や実験の結果から考察したり、グラフや表で表現したりし、科学的に結論を導き出す力を身につけることです。</p>		
使用教材	<p>教科書：未来へ広がるサイエンス1、未来へ広がるサイエンス2、          マイノート、移行用補助教材（啓林館）          補助教材：理科の完全学習1年、理科の完全学習2年（正進社）          理科便覧（浜島書店）、理科ノート2（新学社）</p>	

## 2. 評価観点および方法

	評価の観点	評価の方法
観点① 自然事象への 関心・意欲・態 度	自然に対して関心を持ち、意欲的に探求するとともに、それらを生活との関わりでみようとす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表</li> <li>○実験レポート</li> <li>○定期テスト</li> <li>○観察・実験への取り組み方</li> <li>○ノート</li> <li>○宿題や提出物</li> <li>○課題研究</li> </ul>
観点② 科学的な思考・ 表現	自然の中に問題を見出し、目的意識を持って、観察や実験を行い、論理的、分析的、総合的に考えて問題を解決し、表現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験レポート</li> <li>○課題研究、自由研究</li> <li>○定期テスト</li> <li>○小テスト</li> <li>○発表</li> <li>○ノート</li> </ul>
観点③ 観察・実験の技 能	観察や実験の基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然を科学的に探求する方法を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パフォーマンステスト</li> <li>○観察、実験レポート</li> <li>○小テスト</li> <li>○観察・実験での活動の様子</li> <li>○定期テスト</li> <li>○実験の準備物</li> </ul>
観点④ 自然事象につい ての知識・理解	自然についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期テスト</li> <li>○小テスト</li> <li>○単元テスト</li> </ul>

## 3. 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておこう。</li> <li>○授業中は先生の話だけでなく、友達の意見も集中して聞こう。</li> <li>○グループ活動には積極的に参加し、自分の考えと友達の意見から理解を深めるようにしよう。</li> <li>○計画的にワークなどの提出物に取り組み、提出期限は必ず守れるようにしよう。</li> <li>○授業ノートや観察・実験データは、丁寧に記入しよう。</li> <li>○身のまわりの自然や事物・現象を不思議だなという目で見て、疑問や問題を持って、単元にのぞもう。</li> <li>○学習した内容と身のまわりの自然や事物・現象とを、関連させて考えてみよう。</li> <li>○観察や実験の結果からわかったことを、自分の言葉でまとめてみよう。</li> </ul>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宿題は必ず家でするようにしよう。</li> <li>○進んだ範囲の内容を「理科の自主学習」「理科ノート」によって、復習しよう。</li> <li>○わからない問題は、すぐにあきらめずによく考えよう。考えてもわからないものは、理解できるまで、解答や解説をしっかりと読もう。それでもわからないときは、友達や先生に必ず質問をしよう。</li> <li>○テストや問題集で間違えてしまった問題は、次に出題されたら解けるようにしっかりと理解しておくといいでしょう。また、なぜ間違えてしまったのかも考えよう。</li> <li>○提出物は、提出期限は必ず守れるようにしよう。</li> <li>○興味、関心を持った事象について、自ら調べてみよう。</li> </ul>

## 4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例 (①②③④は観点の番号)
1 学 期	<p>《地球》            活きている地球            2章 大地が火をふく            〈観察〉火成岩の観察            3章 大地は語る            〈観察〉堆積岩の観察</p>  <p>《物質》            化学変化と原子・分子            1章 物質の成り立ち            〈実験〉炭酸水素ナトリウムを加熱するとどうなるか            〈実験〉水に電気を流すとどうなるか            2章 物質を表す記号            3章 さまざまな化学変化            〈実験〉銅を加熱するとどうなるか            〈実験〉鉄と硫黄の混合物を加熱するとどうなるか            〈実験〉酸化銅に炭素を加え加熱するとどうなるか            〈実験〉化学変化でエネルギーを取り出す</p> <p>4章 化学変化と物質の質量の規則性            〈実験〉化学変化の前後での物質全体の質量の変化            〈実験〉金属と酸素が化合するときの金属と酸素の質量の関係</p>	<p>②④マグマの性質と火山の形、噴火の様子、噴出物との関係を推測し、その特徴を理解する。            ②③火成岩の組織や鉱物を観察し、その特徴から火山岩、深成岩を分類することができる。            ④火山岩と深成岩の組織の違いをそのでき方から関連付けて考えることができる。            ④流水のはたらきを理解する。            ③たい積岩を観察し、その特徴を記録できる。            ④地層を比較する鍵となる化石、火山灰について理解する。            ④地層の広がり方、粒の大きさの違いに注目し、時間的・空間的に理解する。            ③④大地が隆起、沈降することによってできる地形を実習から理解する。            ④断層やしゅう曲などのようすから大地が過去に力を受けたことを理解する。            ①日本付近に火山や地震が集中していることに関心を持ち、その原因を調べようとする。            ④地層や地形に見られる土地の変動はプレートの動きが原因であることを理解する。            ②自然からの恩恵と災害について正しく考えることができる。</p> <p>①ケーキが膨らむことに興味をもち、ベーキングパウダー（炭酸水素ナトリウム）の変化について考えようとする。            ①②炭酸水素ナトリウムや酸化銀の分解の実験装置を正しく組み立て、実験を安全に正しく進めることができる。            ①③水の電気分解の実験装置を正しく組み立て、実験を安全に正しく進めることができる。            ④化学変化、分解、単体、化合物について具体的な例を挙げながら正しく説明することができる。            ④物質は原子や分子からできており、原子は原子の記号で表すことができることを理解する。            ①②④化学反応式に興味を持ち、いろいろな化学変化を化学反応式で表そうとする。</p> <p>②③④2種類の物質を化合させる実験を安全に行い、生成した物質を調べ、反応前と異なる物質が生成することを理解し、知識を身につけている。            ②③④酸素が結びつく変化や離れる変化の実験を安全に行い、生成した物質を調べ、反応前と異なる物質が生成することを理解し、知識を身につけている。            ④様々な化学変化の名前やそのしくみについて説明できる。            ③熱の発生や吸収を伴う実験を適切に行い、結果を記録することができる。            ④化学エネルギーと熱の出入りの関係について理解する。</p> <p>②③化学変化前後では、物質の質量の総和が等しいことを実験の結果から導き、理解する。            ②④反応する物質の質量の間には一定の関係があることを理解し、知識を身につけている。</p>
	<p>《生命》            動物の生活と生物の進化            1章 生物の体をつくる細胞            〈観察〉生物の細胞を観察            2章 生命を維持するはたらき            〈実験〉だ液がデンプンを何に変えているのか            3章 感覚と運動のしくみ            〈実験〉刺激を受け取ってから反応するまでの時間            4章 動物のなかま            5章 生物の移り変わりと進化</p>	<p>①生物の基本的なづくりに興味を持ち、意欲的に細胞を観察しようとする。            ③最適な細胞像を顕微鏡に映し出し、正確にスケッチすることができる。            ④植物と動物の細胞のづくりの共通点と相違点について理解する。            ④生命の単位は細胞であり、多細胞生物と単細胞生物がいることを理解する。            ②③④消化や吸収、血液循環についての実験や観察を行い、動物の体は、必要な物質を取り入れて運搬し、不要な物質を排出するしくみをもつことを理解し、知識を身につけている。            ②④刺激を受け取ってから反応が起こるまでのしくみや体を動かすしくみについて理解し、知識を身につけている。            ①身近なせきつい動物に関心を持ち、その生活の仕方や特徴について調べてみようとする。            ②④体のづくりや子の産まれ方などの特徴を比較し、せきつい動物をいくつかの中間に分類できる。            ④無せきつい動物の体のづくりや生活の仕方の特徴を説明することができる。            ②④せきつい動物の化石の出現順序や相互の関係の規則性を考え、進化について推論できるとともに、証拠を示しながら進化の道すじを説明できる。            ②④水中から陸上へと生活場所を変えていくためにどのような進化が必要だったかを説明できる。</p> 

<p>2 学 期</p>	<p>《エネルギー》 電流の性質とその利用 1章 電気の性質 ＜実験＞回路を流れる電流の測定 ＜実験＞回路の各区間の電圧の測定 ＜実験＞電圧と電流の関係 ＜実験＞電流による発熱量 2章 電流の正体 ＜実験＞静電気による力 ＜実験＞クルックス管内の放電 3章 電流と磁界 ＜実験＞電流がつくるの磁界 ＜実験＞電流が磁界から受ける力 ＜実験＞発電のしくみ</p>	<p>①回路の実験に興味を持ち、進んで調べようとする。 ②④直列回路と並列回路での電流、電圧の規則性を実験結果から見いだすことができる。 ②④電流の流れにくさ＝抵抗の求め方を理解し、抵抗の大きさを求めることができる。 ③電流計、電圧計、電源装置を正しく使い、電圧と電流の大きさ測定することができる。 ③電圧と電流の関係をグラフに表すことができる。 ④オームの法則について理解し、知識を身につけている。 ④電気抵抗について理解し、知識を身につけている。 ①④電流から熱や光などが取り出せることを身の回りの電気器具から考え、さらに電力の違いによって発生する熱や光などの量に違いがあることを理解し知識を身につけている。 ①静電気による遊びや現象に興味を持ち、進んで体験しようとする。 ④異なる物質どうしをこすり合わせると静電気が起こり、帯電した物体間では、空間を隔てて力がはたらくことを理解し、知識を身につけている。 ①導線のないところでの電流の流れについて興味を持ち、電流の正体を進んで調べようとする。 ②④電流の正体は電子であることを理解し、知識を身につけている。 ①③磁石による現象に興味を持ち、磁石のまわりのようすを進んで調べようとする。 ②③④電流が磁界から受ける力を調べる実験を行い、モーターが回転するしくみについて理解し、知識を身につけている。 ②③④検流計を正しく使い、コイルと棒磁石で電流を発生させる実験を行い、電磁誘導について理解し、それを利用している発電機のしくみについて理解し、知識を身につけている。 ②③④直流と交流の違いをオシロスコープの波形や発光ダイオードの点滅などで理解し、知識を身につけている。</p>
<p>3 学 期</p>	<p>《地球》 地球の大気と天気の変化 1章 空気中の水の変化 ＜実験＞露点の測定 ＜実験＞雲の発生  2章 大気の動きと天気の変化 3章 大気の動きと日本の四季</p>	<p>①毎日の天気に関心を持つ。 ②③④実験によって水蒸気が水滴に変わる条件を調べ、飽和水蒸気量や露点から湿度を求める方法を理解している。 ④雲、霧のでき方を「露点」という言葉を使い説明できる。 ②④乾湿計の示度の差から湿度を読み取ることができる。 ②④気圧の変化と天気、気温と湿度との間にある関係を理解し、知識を身につけている。 ④高気圧、低気圧を等圧線の状態からとらえることができる。 ②④気圧と大気の動きを理解し、海陸風や季節風などを説明することができる。 ②④気団や前線の特徴を知り、気圧・気温・風向などの天気の変化から前線の通過を読み取ることができる。 ②④日本の四季の特徴的な天気を生じさせるしくみを天気図をもとに説明することができる。 ③④天気記号を覚え、ラジオの気象通報を聞いて天気図を作成することができる。</p>



大池中学校	2学年	音楽
-------	-----	----

### 1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。</p> <p>○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。</p> <p>○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし創意工夫して表現する能力を高める。</p> <p>○多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。</p>
使用教材	<p>教科書：中学生の音楽2・3上、下（教育芸術社）</p> <p>補助教材：合唱曲集「MY SONG」（教育芸術社）</p>

### 2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
①音楽への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>忘れ物、遅刻をせず、積極的に授業に参加している。</li> <li>正しい姿勢で集中して教師の指示やアドバイスを聞きその内容を書き留めている。</li> <li>上達しようとパート練習や全体練習に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>クラスの合唱をよりよくするために工夫して練習に取り組んでいる。</li> <li>楽器や演奏の形態に興味を持って鑑賞している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備物の状況</li> <li>毎回の授業の態度、姿勢</li> <li>課題への取り組み</li> <li>授業中の発言内容</li> <li>楽譜への書き込み記入</li> <li>定期テスト、歌詞テスト</li> <li>実技テストへの取り組み</li> <li>鑑賞中の態度</li> </ul>
②音楽表現の創意工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>声の響き、発音、発声を工夫して歌唱している。</li> <li>歌唱の際に曲に合った表現を工夫しようとしている。</li> <li>曲に合ったブレス、アーティキュレーションを工夫しようとしている。</li> <li>他の声部を聴きながら歌おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題への取り組み</li> <li>パート練習、全体練習への取り組み</li> <li>歌唱の声の響き、発声の仕方、曲想の工夫、ブレス、アーティキュレーション</li> <li>実技テスト、定期テスト</li> </ul>
③音楽表現の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>音程、リズムが正確である。</li> <li>正しい姿勢、響きのある発声、豊かな声量で歌っている。</li> <li>アクセントやリズム、強弱を適切に演奏に活かしている。（音楽記号、標語の理解）</li> <li>楽曲に合った表現を工夫することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パート練習、全体練習での様子（発声、音程、リズム、曲想）</li> <li>表現の豊かさ</li> <li>実技テスト</li> </ul>
④鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>仲間の演奏を聴いて良いところを探すことができる。</li> <li>楽曲の時代背景を理解し、作曲者の意図や心情を感じ取り、曲からのイメージをふくらませて聴くことができる。</li> <li>楽曲の特徴や作曲者について理解している。</li> <li>日本の伝統音楽に親しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞中の態度</li> <li>鑑賞の記録</li> <li>定期テスト</li> </ul>

### 3. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>チャイムが鳴るまでに音楽室に移動し、着席してすぐに授業に取り組める準備をしよう。</li> <li>変声期を終えた男子は、音程がしっかりと取れるようになってくるので、自分のパートの正しい音をよく聴いて歌うようにしよう。</li> <li>パート練習や全体練習に意欲的に取り組もう。</li> <li>互いの声を聴き合い、ハーモニーを感じながら合唱しよう。</li> <li>曲に合った表現ができるようにきちんと楽譜を見て演奏しよう。</li> <li>授業中、楽曲の演奏に関するアドバイスは、そのつど楽譜に書きとめておこう。</li> <li>記号や語句についての説明は、きちんとメモを取り、その場で覚えていこう。</li> <li>鑑賞曲については文化や歴史とかかわらせて聴くようにしよう。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で学習した楽曲の、旋律や歌詞を確認し、暗譜で歌えるようにしよう。</li> <li>授業で学習した楽曲、音楽記号や語句を復習し、しっかりと覚えておこう。</li> </ul>

#### 4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
4月 〜	カンツォーネ「サンタルチア」 ・複合拍子 ・表現の工夫  ・イタリア語の特徴  ・響きのある発声 混声3部合唱 「翼をください」 ・響きのある発声  ・パートの役割 ・表現の工夫	《全学期共通》  ① ・遅刻、忘れ物をせず、毎回の授業に意欲的に取り組むことができる。 ・正しい姿勢で練習に取り組むことができる。 ・授業中に意欲的に発言することができる。 ・実技テスト、定期テスト、歌詞テスト等に意欲的に取り組むことができる。 ・授業で指示したことを楽譜に記入している。 ・楽器、演奏形態に興味を持って鑑賞することができる。 ・課題に意欲的に取り組んでいる。
6月 〜	鑑賞 「フーガ ト短調」 ・作曲者について  ・パイプオルガンについて  ・バロック音楽とフーガについて 日本歌曲 「夏の思い出」  ・日本語の美しさ	② ・響きのある声で歌うことができる。 ・曲に合った表現を工夫して歌うことができる。 ・歌詞の意味を考え、言葉を大切に歌うことができる。 ・他の声部を聴きながら歌うことができる。 ・ブレスの位置を考え、アーティキュレーションを意識しながら表現することができる。 ・課題のポイントをきちんと理解して取り組むことができる。
7月 〜	混声3部合唱の取り組み ・響きのある発声  ・歌詞にあった表現の工夫  ・歌詞と旋律のかかわり  ・曲想の変化  ・ハーモニーの美しさ	③ ・正しい姿勢で演奏することができる。 ・正しい音程やリズムで楽譜通りに演奏することができる。 ・アクセントやリズム、記号を理解し、曲想をつけて演奏することができる。 ・響きのある声で歌うことができる。
12月 〜	鑑賞 「交響曲第5番ハ短調」 ・オーケストラと楽器  ・作曲者と交響曲について  ・古典派音楽と曲の構成について	④ ・集中して鑑賞することができる。 ・鑑賞曲を聴いて、わかった事や感じた事を自分の言葉で表現することができる。 ・鑑賞曲を聴いて、作曲者の意図や心情を感じ取ることができる。 ・曲のイメージをふくらませて聴くことができる。 ・楽曲の構成や作曲家についての詳細、歴史的背景や文化を理解することができる。 ・歌舞伎の鑑賞を通して、日本の伝統音楽に親しむことができる。 ・仲間の演奏を聴いて良いところを探すことができる。
1月 〜	鑑賞 歌舞伎 「勧進帳」 ・伝統芸能、歌舞伎について ・「勧進帳」について 卒業式に向けての取り組み 「国歌」「校歌」「大切なもの」 混声3部合唱 「君に会えたことに・・・」 ・パートの役割  ・ハーモニーの美しさ  ・響きのある発声	

大池中学校	2学年	美術
-------	-----	----

### 1 学習のねらい

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。</li> <li>○ 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。</li> <li>○ 自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</li> </ul>
使用教材	教科書：日本文教出版「美術2・3上下」、美術資料 シルクスクリーン（Tシャツ）、デザインセット、ケント紙、鉛筆セット、色鉛筆、

### 2 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
美術への関心・意欲・態度	<p>「美術的な活動に関心をもち、意欲的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく生き生きと表現しようとしている。</li> <li>・向上しようと創意工夫し努力しようとしている。</li> <li>・鑑賞することを楽しんでいる。</li> </ul>	<p>【授業中の発言、態度】【資料の収集、提出物】 【活動状況】【振り返りシート】【定期テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から積極的に、かつ粘り強く学習に取り組もうとしている。</li> <li>・期限内にきちんと仕上げ提出ができる。</li> <li>・準備物や用具の取り扱い、片付けができる。</li> </ul>
発想や構想の能力	<p>「感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどをもとに、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をすることができる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしく生き生きとした表現の構想を練っている。</li> </ul>	<p>【作品制作の下絵（アイデアスケッチ）など】 【デッサンの構図】【途中作品や完成作品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のイメージをさまざまな角度から考えることができる。</li> <li>・イメージしたものを表現することができる。</li> </ul>
創造的な技能	<p>「表現の技能を身に付け、造形感覚や感性などを働かせ、自分の表現方法を創意工夫し創造的に表すことができる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美しく創造的に表現している。</li> </ul>	<p>【制作過程の中での材料や用具の使い方】 【途中作品や完成作品】【定期テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな表現を工夫し、より良いものに創意工夫することができる。</li> <li>・材料や用具の特性を生かし、表現することができる。</li> </ul>
鑑賞の能力	<p>「作品に親しみ、感性や想像力を働かせて、よさや美しさを感じとったり味わったり、理解したりできる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな見方や感じ方や発想の仕方、知識等を学びとり、多様な表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り味わっている。</li> </ul>	<p>【授業中の発言、発表】 【感想文】【振り返りシート】【定期テスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を鑑賞し、よさや美しさを感じとることができる。</li> <li>・作者の思いや意図を感じとることができる。</li> <li>・自他の作品の良いところを見つけ、自分の作品制作に活かすことができる。</li> </ul>

### 3 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中、先生の話をよく聞いて作品づくりに取り組もう。</li> <li>・しゃべりながら制作しない。（制作する姿勢が作品に表れます。本当によい作品は真剣な制作態度から生まれます。じっくりと集中し落ち着いて取り組もう）</li> <li>・美術の教科書や資料集などで興味のある作家や作品を見つけよう。</li> <li>・普段から、ものをよく見ること。（見ることから美術は始まります）</li> <li>・準備、かたづけを時間内にきちんと行い、制作時間を確保しよう。</li> <li>・期日内に作品を完成させ、提出物は期日を守ろう。</li> </ul>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品のヒントになる資料を集めよう。</li> <li>・忘れ物のないように準備物をきちんと用意しておこう。</li> <li>・テスト前はプリントや参考資料を活用し、デッサンの練習をおこう。</li> <li>・家庭学習を行い、テスト対策をしておこう。</li> <li>・美術館へ行ったりして、本物の作品を見て感性をみがいておこう。</li> </ul>

4 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 期	<p>オリエンテーション ・美術の授業に対する心構えと授業のルール。 ＜規律ある態度・約束や決まりを守る＞</p> <p>◇ミラーボックスの組立 ◇鉛筆デッサン スリッパのデッサン</p>	<p>① 制作活動への興味・関心を持ち、意欲的に取り組む姿勢を身につけようとしている。</p> <p>① 鉛筆デッサンに意欲的に取り組もうとしている。 ② 対象の特徴をとらえて発想し、構成している。 ②③構造を理解し、立体感や質感をだしている。</p>
	<p>◇絵画（版画） 版画の種類について シルクスクリーン （Tシャツ）</p>	<p>① 様々な版画の種類や技法、道具について知り、制作につなげることができる。 ① シルクスクリーンの魅力を感じ取り、いろいろな技法に関心を持ち、すすんで試すことができる。 ② 衣服のデザインに興味を持ち、衣服のデザインとしてアイデアをねることができる。 ③ シルクスクリーンの手法・作業手順を理解し、材料・用具を的確に使用して自分のデザインを表現することができる。</p>
2 学 期	◇鑑賞	④ クラスメイトの作品を鑑賞し、それぞれの発想や構想の良さ、表現の工夫を味わうとともに、作者の思いを感じとることができる。
	◇デザイン 平面構成～透視図を使った 立体的な構成～	① 計画的に作品づくりを進め、作品を完成させることができる。 ① 一点・二点透視図法、斜投影・等角投影図について理解し、自分のデザインに効果的に生かすことができる。 ② 資料をもとに効果的な表現を構想し、構成や色彩を工夫することができる。 ③ 的確な水の分量、筆を使い分けにより、むらなく美しい平塗りをおこなうことができる。
3 学 期	◇鑑賞	④ 互いの作品を鑑賞し、それぞれの発想や構想の良さ、表現の工夫を味わうとともに、作者の思いを感じとることができる。
	(◇鉛筆デッサン) 体育館シューズ	① 鉛筆デッサンに意欲的に取り組もうとしている。 ② 対象の特徴をとらえて発想し、構成している。 ②③構造を理解し、立体感や質感をだしている。

大池中学校	2年男子	保健体育
-------	------	------

### 1. 学習のねらい

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健全な『からだ（身体）』と『こころ（精神）』を培う。</li> <li>○技能・体力の向上をはかり、運動を行うためのルール・知識を身につける。</li> <li>○自ら学び、まわりとつながり、ともに学びあう態度を養う。</li> <li>○自他の健康・安全に留意し、生活する習慣を身につける。</li> <li>○運動に親しみ、生涯スポーツを通して、豊かな生活をおくる態度を身につける。</li> </ul>
使用教材	教科書： 新しい保健体育（東京書籍） 補助教材： ステップアップ中学体育（大修館）・学習ノート（中学保健体育ノート 大修館）

### 2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
○関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らすすんで運動の楽しさや喜びを得ようとする。</li> <li>・心身の健康や安全に関心をもち、健康で安全な生活を実現するため、すすんで学習に取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①約束やきまりを守る（服装・忘れ物・遅刻・見学・欠席）</li> <li>②前向きな姿勢で取り組める</li> <li>③準備や後片付けをすすんで行なう</li> <li>④毎回の取り組み・課題（ウォーミングアップ、補強運動など）をしっかりとできる</li> </ul>
○思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の特性に応じて、能力に応じた課題解決をめざし、考え工夫している。</li> <li>・心身の健康や安全に関する課題解決をめざし、適切に判断し、行動している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤自分で考え、ふりかえり、次に活かすことができる</li> <li>⑥自己評価がきちんとできる</li> <li>⑦健康・安全に対する配慮ができる</li> </ul>
○運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能力に応じた課題解決をめざし、運動を行い、技能を身につけている。</li> <li>・体力を高めるために運動の合理的な行い方を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧実技テスト</li> <li>⑨技能の伸長</li> <li>⑩授業のようす（授業を通しての技能レベル）</li> </ul>
○知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の特性と学習方法に関する知識を理解し、身につけている</li> <li>・健康・安全に関する知識を理解し、身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑪定期テストの正答率</li> <li>⑫授業中の学習内容の理解（ルール、ポイントなど）ができています</li> </ul>

### 3. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ベル席をきちんと守ろう。チャイムと同時にアップを始めよう</li> <li>②服装を整え、準備運動にきちんと取り組もう</li> <li>③姿勢よく話を聞けるようにしよう</li> <li>④準備や後片付けにすすんで取り組もう</li> <li>⑤学習（練習）に自分からすすんで取り組もう</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分の体力向上のために、自宅のできるトレーニングをやってみよう</li> <li>②健康なからだを保つために栄養・睡眠を十分確保しよう</li> <li>③運動に関する興味・関心・意欲向上のため、日頃から様々なスポーツに関する情報に目や耳を傾けよう</li> </ul>

### 4. 学習計画

	単 元	主な学習内容と観点別評価の具体例
1学期	(1) 体づくり運動① (2) 陸上競技 (3) バスケットボール①	(1) 準備運動、集団行動の意義を理解し、毎回の活動がきちんとできる (2) 各種目（ハードル、高跳び、幅跳び、ハンドボール投げ）の記録、技能 (3) 基本的なドリブル・パス・シュートの技能、ゲーム中の技能
2学期	(4) 体づくり運動② (5) バスケットボール② (6) ソフトボール (7) 長距離走	(4) 体育祭の練習 基本的な技能の習得と意欲的にできる (5) 基本的なドリブル・パス・シュートの技能、ゲーム中の技能 (6) フィールディング・バッティングの技能、ゲーム中の技能 (7) 2100m走の記録
3学期	(8) サッカー (9) ダンス	(8) ドリブル・パス・シュートの技能、ゲーム中の技能 (9) ダンスの基本的な動きの習得、ダンスの創作
年間	【体育理論】(1)～(9) 【保健分野】 (10)健康と環境・傷害の防止	体育理論は上記(1)～(9)の単元の中で年間を通して学習する。  (10)健康と環境・傷害の防止についての内容を理解できている（各学期末テスト）

大池中学校	2年女子	保健体育
-------	------	------

### 1. 学習のねらい

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健全な『からだ（身体）』と『こころ（精神）』を培う。</li> <li>○技能・体力の向上をはかり、運動を行うためのルール・知識を身につける。</li> <li>○自ら学び、まわりとつながり、ともに学びあう態度を養う。</li> <li>○自他の健康・安全に留意し、生活する習慣を身につける。</li> <li>○運動に親しみ、生涯スポーツを通して、豊かな生活をおくる態度を身につける。</li> </ul>
使用教材	教科書： 新しい保健体育（東京書籍） 補助教材： ステップアップ中学体育（大修館）・学習ノート（中学保健体育ノート 大修館）

### 2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
○関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らすすんで運動の楽しさや喜びを得ようとする。</li> <li>・心身の健康や安全に関心を持ち、健康で安全な生活を実現するため、すすんで学習に取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①約束やきまりを守る（服装・忘れ物・遅刻・見学・欠席）</li> <li>②毎回の取り組み・課題（ウォーミングアップ、補強運動など）をしっかりとできる</li> <li>③準備や後片付けをすすんで行なう</li> <li>④自ら進んで学習に取り組む、積極的に仲間へのアドバイスもできる</li> </ul>
○思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の特性に応じて、能力に応じた課題解決をめざし、考え工夫している。</li> <li>・心身の健康や安全に関する課題解決をめざし、適切に判断し、行動している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤自分で目標をもって学習し、成果や課題をふりかえり、次に活かすことができる</li> <li>⑥自分やチームの課題を見つけ、話し合いや練習を通して課題をクリアしようとする</li> <li>⑦健康・安全に対する配慮ができる</li> </ul>
○運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能力に応じた課題解決をめざし、運動を行い、技能を身につけている。</li> <li>・体力を高めるために運動の合理的な行い方を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧実技テスト</li> <li>⑨技能の伸長</li> <li>⑩授業のようす</li> </ul>
○知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の特性と学習方法に関する知識を理解し、身につけている</li> <li>・健康・安全に関する知識を理解し、身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑪定期テストの正答率</li> <li>⑫授業中の学習内容（ルール、運動の行い方、保健の授業内容など）を理解し、活用しようとする</li> </ul>

### 3. 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ベル席をきちんと守ろう。チャイムと同時にアップを始めよう。</li> <li>②服装を整え、準備運動にきちんと取り組もう。</li> <li>③姿勢よく話を聞けるようにしよう。</li> <li>④準備や後片付けにすすんで取り組もう。</li> <li>⑤学習（練習）に自分からすすんで取り組もう。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分の体力向上のために、自宅でできるトレーニングをやってみよう。</li> <li>②健康なからだを保つために栄養・睡眠を十分確保しよう。</li> <li>③運動に関する興味・関心・意欲向上のため、日頃から様々なスポーツに関する情報に目や耳を傾けよう。</li> </ul>

### 4. 学習計画

	単 元	主な学習内容と観点別評価の具体例
1学期	(1) 体づくり運動① (2) 陸上競技 (3) マット運動・跳び箱	(1) 準備運動、集団行動の意義を理解し、毎回の活動がきちんとできる (2) 各種目（ハードル、高跳び、幅跳び、ハンドボール投げ）の記録、技能 (3) マット運動・跳び箱の基本的な技能の習得
2学期	(4) 体づくり運動② (5) ソフトボール (6) 剣道 (7) 長距離走	(4) 体育祭の練習、リレー 基本的な技能の習得と意欲的にできる (5) 基本的なルールを理解している、キャッチング、スローイング、バッティングの技能、ゲーム中の技能 (6) 礼法や基本となる動作や技を正確に行える (7) 2100m走の記録
3学期	(8) バasketボール (9) ダンス	(8) ゴール下・ドリブルシュート（レイアップ）の技能、ゲームの中の技能 (9) ダンスの基本的な動きの習得、ダンスの創作
年間	【体育理論】(1)～(9) 【保健分野】 (10) 健康と環境・傷害の防止	体育理論は上記(1)～(9)の単元の中で年間を通して学習する。 (10) 健康と環境・傷害の防止についての内容を理解できている 応急手当ての目的や行い方を理解できている（各学期末テスト）

大池中学校	2学年	技術
-------	-----	----

## 1 学習のねらい

学習のねらい	<p>○エネルギー変換とその利用について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りで利用されているエネルギーを調べ、理解する。</li> <li>・電気エネルギーについて調べる。</li> </ul> <p>○あんしんライトの製作を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発電機や電池の特徴について調べる。</li> <li>・使用部品のしくみやはたらきについて知る。</li> <li>・工具を理解し、安全に使用できるようになる。</li> </ul> <p>○コンピュータやソフトウェアの利用方法を知り、情報の処理ができるようになる。</p>
使用教材	<p>教科書：教科書(東京書籍)</p> <p>副教材：技術・家庭総合ノート(明治図書), あんしんライト</p>

## 2 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
①生活や技術への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りで利用されているエネルギーがどのように変換され生活に役立てられているかを知ろうとしている。</li> <li>・日常生活で幅広く利用されている電気エネルギーのつくり方や電源について知ろうとしている。</li> <li>・電気エネルギーを他のエネルギーに変換する原理や実際の電機機器のしくみを知ろうとしている。</li> <li>・ソフトウェアを生活の中で積極的に利用しようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の様子(準備物, 態度, 動作, 発言, 質問, 意見など)</li> <li>・ノートやプリント等の提出物</li> <li>・仲間への声かけの様子</li> <li>・材料を加工する様子</li> </ul>
②生活を工夫し想像する能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの工夫によって目的に応じ, 適切な製作計画と材料を選び, ものを製作しようとしている。</li> <li>・蛍光灯やファンヒータなど身近なものに関連づけて, 使い方を工夫している。</li> <li>・発電機や電池の仕組みを知り, 製作品にも電源として生かすことができる。</li> <li>・ソフトウェアを生活の中で利用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の様子(動作, 発言, 作業内容など)</li> <li>・ノートやプリント等の提出物</li> <li>・仲間への声かけの様子</li> <li>・製作したもの(はんだづけする様子も含む)</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
③生活の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な工具を使用し, 安全に効率よく加工することができる。</li> <li>・目的とする製作品の簡単な回路図を読み取ることができる。</li> <li>・はんだづけを正確にできる。</li> <li>・ソフトウェアを利用して, 簡単な図や表, グラフが作れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の様子(動作, 発言, 作業内容など)</li> <li>・ノートやプリント等の提出物</li> <li>・製作したもの(はんだづけする様子も含む)</li> <li>・定期テスト</li> </ul>
④生活や技術についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術が果たしている役割に関する知識を身につけ, 技術のあり方について理解している。</li> <li>・加工技術に関する知識を身につけ, 工具の仕組みについて理解している。</li> <li>・身の回りのエネルギーについて説明でき, どのように変換されているのか理解している。</li> <li>・ソフトウェアの基本的な構成や操作方法について説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の様子(動作, 発言, 作業内容など)</li> <li>・ノートやプリント等の提出物</li> <li>・仲間への声かけの様子</li> <li>・製作したもの(はんだづけする様子も含む)</li> <li>・定期テスト</li> </ul>

### 3 学習方法についてのアドバイス

学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベル席を心がけ、授業に集中しよう。</li> <li>・理論学習の授業中は挙手に努め、積極的に授業に参加するとともに、ワークシートにしっかり記入しよう。</li> <li>・提出物をきちんと出そう。</li> <li>・指示を良く聞き、道具や機械を適切に使用し、積極的に作業に取り組もう。</li> <li>・お互い声を掛け合いながら、うまくいったことを共有したり困ったことをともに考え解決したりしていくなどして、グループで協力しながら作業を進めよう。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにある電化製品にどのような工夫がされているか注意してみよう。</li> <li>・新しいエネルギーや省エネルギーなど工夫して、生活しよう。</li> <li>・その日の内に学習した内容を、ノートで復習しておきましょう。</li> </ul>

### 4 学習計画

	各単元と主な内容	観点別評価の具体例
2年2学期	<p>○エネルギーの変換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然界のエネルギーについて知る。</li> <li>・電気エネルギーを熱・光・動力などに変換するしくみについて知る。</li> </ul> <p>○電源について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源の種類について知る。</li> <li>・電池の使用について知る。</li> <li>・直流電源と交流電源について知る。</li> </ul> <p>○発電の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直流電源、交流電源の方法について知る。</li> <li>・様々な発電方法について知る。</li> <li>・環境問題と発電方法についての関係を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に発言する。【関】</li> <li>・ノートをきちんとまとめる。【関・知】</li> <li>・班で相談する時は積極的に意見を出し、考えをまとめた後、発表したりする。【関】</li> <li>・エネルギー変換の実験に積極的に取り組む。【関】</li> <li>・エネルギー変換の方法やしくみを知る。【知】</li> <li>・直流電源、交流電源の違いを理解する。【知】</li> <li>・様々な発電方法を理解する。【知】</li> <li>・エネルギー変換の小テスト【工・技】</li> </ul>
2年3学期	<p>○製品の加工</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用する部品について調べる。</li> <li>・はんだづけについて知り、加工する。</li> </ul> <p>○環境とエネルギーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境を大切に作る技術の進歩やこれからのエネルギーの在り方について考える。</li> <li>・エネルギーの変換について知る。</li> <li>・電波のしくみを調べる。</li> </ul> <p>○ネットワークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内ネットワークについて仕組みを知ろう。</li> <li>・ネットワーク、インターネットについて仕組みを知ろう。</li> </ul> <p>○コンピュータソフトウェアの機能と情報の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトウェアを使ってみよう。</li> <li>・数値情報のデータを処理してみよう。</li> <li>・グラフを作ろう。</li> <li>・プレゼンテーションソフトを利用してみよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に発言する。【関】</li> <li>・ノートをきちんとまとめる。【関・知】</li> <li>・安全に気をつけながら積極的に作業に取り組む。【関・技】</li> <li>・はんだづけの作業を正確にできる。【技】</li> <li>・作業段階ごとの課題に取り組み、反省を行う。【関】</li> <li>・作業の準備やあとかたづけを協力して行う。【関】</li> <li>・部品を図面通りに組み立てできる。【技】</li> <li>・班で協力しながら、作業を進める。【関・技】</li> <li>・作業の準備やあとかたづけを協力して行う。【関】</li> <li>・製作をふり返り、反省やまとめ、感想を用紙にまとめる。【関】</li> <li>・電波のしくみや環境とエネルギーの在り方について調べ、プレゼンテーションソフトウェアを使って発表できる。【関・工・技】</li> <li>・ソフトウェアを活用し、データを処理したり、グラフにまとめたりすることができる。【技】</li> <li>・定期テスト【工・技・知】</li> </ul>

大池中学校	2学年	家庭
-------	-----	----

### 1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>食生活</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>食品に含まれる栄養素と、そのはたらきについて理解し、食事の役割を考えたり、自分の食生活を見直したりできるようになる。</li> <li>生鮮食品の旬や加工食品の品質表示・食品添加物について知り、食品を適切に選択・保存できるようになる。</li> <li>安全や衛生に気をつけながら、魚や肉、野菜を使って、日常食の調理ができるようになり、自分や家族の食事を整えることに興味を持つようになる。</li> </ol> <p>消費生活と環境</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解する。</li> <li>販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資、サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。</li> <li>消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し実践する。</li> </ol>
教材使用	<p>教科書：技術・家庭 家庭分野（東京書籍）</p> <p>教材：調理実習材料等</p>

### 2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
関心・意欲・態度 生活や技術への	<ol style="list-style-type: none"> <li>①授業・実習に興味・関心を持って取り組んでいるか。</li> <li>②準備・後片付けにも、積極的に取り組んでいるか。</li> <li>③授業で使うワークシートは確実に書き込まれているか。</li> <li>④教科書・ファイル、実習時の服装、調べ学習（宿題）など授業の準備が出来ているか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①②学習活動への参加の様子（見取り）</li> <li>③課題への取り組み（ワークシート）</li> <li>④授業への準備（宿題・持ち物調べ）</li> </ol>
工夫する能力 生活を創意・	<ol style="list-style-type: none"> <li>①調理の計画の際に工夫や計画性が見られるか。</li> <li>②学習内容のまとめや調べ学習などの課題で、創意工夫が見られるか。（献立作りなど）</li> <li>③環境に配慮した、消費行動ができるか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①実習準備の際の計画性（話し合いの様子・ワークシートへの書き込み）</li> <li>①作業中の効率のよさ、工夫</li> <li>②ワークシート</li> <li>③ワークシートの記入</li> </ol>
生活の技能	<ol style="list-style-type: none"> <li>①調理の基本的な技能が身についているか。（実習中の様子・技能テスト）</li> <li>②作業の進め方や用具の使い方・片付けの要領は、身についているか。</li> <li>③衛生や安全に気をつけて実習にのぞんでいるか。</li> <li>④状況に応じた商品の購入ができるか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①②③実習中の様子</li> <li>①技能テスト</li> <li>③ワークシートの記入</li> <li>④ワークシートの記入</li> </ol>
知識・理解 生活や技術への	<ol style="list-style-type: none"> <li>①授業中の発言やワークシートで生活に関する知識・経験が見られるか。</li> <li>②食品に含まれる栄養素とそのはたらき、食品の選び方、食品の調理上の性質、調理法などについて、基本的な知識が身についているか。</li> <li>③消費生活に関する知識が身についているか。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ワークシートの記入</li> <li>②③定期テストや単元テスト</li> </ol>

### 3. 学習方法についてのアドバイス

学校で	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に必要な物を確実に準備すること。（特に実習時）</li> <li>・授業中に友達と交流するときは、友達の意見を大切にしよう。</li> <li>・授業ではワークシートをしっかりと書き込もう。大切なことはメモする習慣を付けよう。</li> <li>・作業をするときは、授業の進度に大きく遅れないように時間の使い方を工夫しよう。</li> <li>・「どうすれば能率が良いか」「どうすればより良くできるか」常に考え、1度や2度の失敗であきらめることなく根気よく取り組もう。</li> <li>・すぐ人に聞かず、自分でもよく考えよう。</li> </ul>
家庭で	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習の宿題が出たときは丁寧にやろう。</li> <li>・学習したことを家で実践しよう。その感想などもワークシートに書き込んでいくと良い。</li> <li>・食生活や消費生活について興味を持ち、「なぜ?」「どうやって?」など疑問を見つけるようにしよう。</li> </ul>

#### 4. 学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
6月	<b>1. 食品の栄養素</b> ・食品と栄養素 ・栄養素のはたらき ・栄養素と健康	<b>関心</b> ・授業の準備をきちんとし、授業内容に関心を持って積極的に取り組むことができるか。 ・ワークシートへの書き込みが確実・丁寧か。 <b>工夫</b> ・グラフ作り・献立などの工夫の必要な課題のできばえ。また、調べるなかで発見やきずきがあるか。 <b>知識</b> ・ワークシートや発言の中に、豊富な知識・経験や十分な理解が見られるか。 ・食品と栄養素とはたらきの関係について、正しく理解できているか。(小テスト・定期テスト)
7月～9月	<b>2. 日常食の調理</b> ・調理材料の扱い方 ・調味料の計量 ・食品の調理上の性質 ・調理方法 ・用具の扱い方 ・安全や衛生面の注意点	<b>関心</b> ・実習に意欲的に取り組み、積極的に動いているか。また片づけにもすすんで取り組んでいるか。 ・班員と協力して、話し合いや作業ができるか。 ・衛生や安全に留意して作業に取り組んでいるか。 ・調理実習のワークシートで計画や反省が十分できているか。 <b>工夫</b> ・調理実習準備のワークシートに作業に生かせる工夫が見られるか。 ・実習の際に調理の工夫や、能率を考えた行動や姿勢が見られるか。 <b>技能</b> ・技能テストで、用具を正しく使い、安全に作業ができるか。 ・実習中に調理の技能・経験を生かすことができるか。 <b>知識</b> ・調理材料の性質や扱い方、計量の仕方、調理方法や用具の使い方について、正しく理解できているか。 ・ワークシートの中に、豊富な知識・経験や十分な理解が見られるか。
7月～9月	<b>3. 食品の適切な選択</b> ・食品の選択と購入 ・食品の保存  <b>4. よりよい食生活を目指して</b>	<b>関心</b> ・授業の準備をきちんとし、授業内容に関心を持って積極的に取り組むことができるか。 ・ワークシートへの書き込みが確実・丁寧か <b>工夫</b> ・食品の選び方について課題を見付け、その解決を目指して工夫しているか。 <b>技能</b> ・身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができるか。 <b>知識</b> ・食品の旬、品質表示等について正しく理解できているか。(小テスト・定期テスト)
10月	<b>5. 消費生活と環境</b> ・消費者としての自覚を持つよう ・商品の選択と購入について考えよう ・消費者の権利と責任を知ろう ・消費者トラブルを解決する方法を知ろう ・生活と環境のかかわりについて考えよう	<b>関心</b> ・授業の準備をきちんとし、授業内容に関心を持って積極的に取り組むことができるか。 ・自分や家族の消費生活を振り返ることができる。 <b>工夫・技能</b> ・販売方法や支払い方法の特徴を知り、商品を適切に選択、購入、活用することができる ・消費行動が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活を工夫する。 <b>知識</b> ・消費者の権利と責任、消費者基本法について理解できる。 ・契約について理解できる

大池中学校	2学年	外国語科
-------	-----	------

1、学習のねらい

使用教材	教科書：NEW CROWN 2（三省堂）	
	補助教材：	・英語パーフェクトノート 前期・後期（学宝社） ・ジョイフルワーク（新学社）
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。</li> <li>■ 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。</li> <li>■ 聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を身につける。</li> <li>■ 基礎的な英語を用いて、自分の考えや気持ちなど伝えたいことを話したり書いたり表現できる力を身につける。</li> </ul>	

2、評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
① コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音練習や音読、通訳練習などの言語活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・工夫して英語でのコミュニケーションを続けようとする。</li> <li>・与えられた課題ページをきちんと暗唱することができる。</li> <li>・予習復習としてノートやワークなどの課題をしっかりとできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取り組みの姿勢</li> <li>・発言の様子</li> <li>・提出物の内容と提出状況</li> <li>・音読課題の達成率</li> </ul>
② 外国語表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初歩的な英語や既習の文法事項を用いて、自分の考えや気持ちを正しく話したり、書くことができる。</li> <li>・初歩的な英語や既習の文法事項を用いて、場面や相手に応じて適切に話すことができる。</li> <li>・教科書の音読やスピーチ、暗唱を英語のリズムや音などを意識して適切にできる。</li> <li>・YEFとの会話やQ-Aなどに対して意欲的に、正しい英語を用いて表現できる。</li> <li>・さまざまなテーマについて簡単なレポートにすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチや暗唱での表現力</li> <li>・会話テスト・リーディングテスト</li> <li>・日記や作文課題の内容</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期テスト(表現に関する問題)</li> </ul>
③ 外国語理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材となっている本文や英語の情報を正しく聞き取ったり、読み取ることができる。</li> <li>・友達のレポートやスピーチを正しく聞き取ることができる。</li> <li>・初歩的な英語を場面や状況に応じて適切に聞いたり、読み取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニングテスト</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期テスト(聞き取り・読み取りに関する問題)</li> </ul>
④ 言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく学習する語彙や表現を理解し覚える（運用する）ことができる。</li> <li>・新しい文法事項や初歩的な英語表現に関する知識を身につけ、覚える（運用する）ことができる。</li> <li>・英語の本文や教材などを通して、日本と外国文化について理解することができる。</li> <li>・自国の文化や外国文化について調べ、知識として身につけることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート</li> <li>・小テスト・単語テスト</li> <li>・定期テスト(語彙・文法に関する問題)</li> </ul>

3、学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイムが鳴るまでに授業準備をして、着席し、前回学習した内容を見直す。</li> <li>・授業中は、話をしっかりと聞く。音読やリピートでは声をしっかりと出して英語を言う。</li> <li>・ペーパーワークでは、時間いっぱい練習する。特に暗唱活動では、積極的に教えてもらう。</li> <li>・発問などには積極的に参加し、英語をたくさん使う。</li> <li>・ノート、ワーク、レポート、プリントなどの提出物は丁寧に仕上げ、期日を守る。</li> </ul>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、本文写し・単語調べを確実にしてくる。復習として、日本語訳をノートにする。</li> <li>・教科書の本文は、声を出して何度も読む。暗唱指定ページは、覚えるまで繰り返し練習する。</li> <li>・単語や基本文など、繰り返し声を出しながら読み、何度も書く。</li> <li>・ワークやプリントで習ったところを練習する。理解するまで答えや解説をしっかりと読む。</li> <li>・NHKラジオ講座（特に基礎英語2など）やTV講座やリスニングのCDなどをできる限り聞く。</li> <li>・英語検定試験などを目標にして学習を広げる。</li> </ul>

4、学習計画

	各単元の主な学習内容	観点別評価の具体例
1学期	<b>LESSON9</b> For Seasons let's Talk◎ どうして好きなの？ Let's Read Alice and Humpty Dumpty  <b>LESSON1</b> 『Aloha!』 ハワイの心「アロハ」 ・Amy played～  ●Let's Talk① 『道案内をしよう』	【関】：意欲的に英語の表現活動に取り組むことができる。 英語のあいさつが元気でできる。 忘れ物などなくきちんと授業に臨んでいる。 間違えることを恐れずに積極的に道案内している。 【表】：意味のまとまりを考えて説明文を音読することができる。 交通手段を説明したりする道案内の会話をするすることができる。 【理】：説明文を読んで、書かれた内容を読み取ることができる。 絵日記を読んで、その概要を読み取ることができる。 【言】：過去形（一般動詞）に関する知識を身につけている。 Why do you like A?で好みの理由をたずね、Because～.で説明する表現の知識を身につけている。 How can I get to～?で交通手段をたずねたり、Take～.で交通手段を説明したりする表現の知識を身につけている。
	<b>LESSON2</b> 『Peter Rabbit』 世界中で愛されるウサギのお話 Get① ・My father was ～/ ・Was your father ～?/ ・My father was not～/ Get② ・I was watching ～./When my mather came ～ ●Let's Listen① 『テレビニュース』 ●Let's Talk② 『もし雨が降ったら』 ・I f it's clear, ～, /Why not?	【関】：音読練習やペーパーワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。 間違えることを恐れずに積極的に物語のあらすじを書ける。 【表】：情景が伝わるように物語を音読することができる。 【理】：物語を読んで、その概要を読み取ることができる。 テレビのニュースを聞いて、話の全体的な内容を聞き取ることができる。 【言】：過去形（be動詞）、過去進行形、接続詞whenに関する知識を身につけている。 If it's～?で「もし～ならば」と条件や仮定を説明する表現の知識を身につけている。

1 学期	<b>LESSON 3</b> 『The Ogasawara Islands』 自然にやさしく Get① ・ I t will be ~ Get② ・ I am going to visit ~ Get③ ・ I think (that) ~ ●Let's Listen② 『世界の天気予報』 ●Let's Talk③ 『避難訓練』 ・ We must ~, We must not ~	【関】：辞書を活用して「地球のためにできることについて」のアンケートの回答を書いている。 【表】：好きな有名人のプロフィールを紹介するポスターを書くことできる。 【理】：講演資料を読んで、その要点を読み取ることができる。天気予報を聞いて自分に必要な情報を聞き取ることができる。 【言】：未来を表す表現(will, be going to~)、接続詞thatに関する知識を身に付けている。 must~で「～しなければならない」must notで～してはいけない」という表現の知識を身に付けている。
	<b>LESSON 4</b> 『Enjoy Sushi』 お寿司はいかが Get① ・ There is ~ ・ There are ~ GET② ・ I like playig ~ ●Let's Listen③ 『観光案内』 ●Let's Talk④ 『宿題は何?』 ・ We have to ~	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。間違うことを恐れず積極的に「～しなければならない」と言う会話に取り組んでいる。 【表】：相手の言ったことを確認しながら、会話を続けることができる。 【理】：観光案内所の案内を聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。ウェブサイトの記事を読んで、そこに書かれている事実を読み取ることができる。 【言】：There is (are) ~、動名詞に関する知識を身に付けている。have to ~で「～しなければならない」と言う表現の知識を身に付けている。
	<b>LET'S READ 1</b> 『A Pot of Poison』 毒のつぼ	【関】：くり返して読んだり読み返したりして読み続けている。 【表】：登場人物らしく会話を音読することができる。 【理】：とんち話の面白さを読み取ることができる。
2 学期	<b>LESSON 5</b> 『Uluru』 オーストラリア先住民の歴史をたどる旅 Get① ・ I will give Koji a book. Get② ・ Miki looks happy. ●Let's Listen④ 『空港・機内のアナウンス』 ●Let's Talk⑤ 『もっといただけますか?』 ・ May I ~?	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。辞書を活用して好きな国についてのエッセイを書いている。間違うことを恐れず積極的に「～してもいいですか」と許可を求めるとる会話に取り組んでいる。 【表】：好きな国についてのエッセイを書くことができる。「～してもいいですか」と許可を求めるとる会話をするすることができる。 【理】：ガイドブックのコラムを読んで、その要点を読み取ることができる。空港・機内のアナウンスを聞いて、自分に必要な情報を聞き取ることができる。 【言】：<give など+A+B>、<lookなど+A>に関する知識を身に付けている。 May I ~?で許可を求めるとる表現の知識を身に付けている。
	<b>LESSON 6</b> 『My Dream』 ロボットのある暮らし Get① ・ Amy wants to read ~. Get② ・ Tom went ~ to play ... something to eat ●Let's Listen⑤ 留守番電話のメッセージ ●Let's Talk⑥ 『電話をしよう』 ・ Will you ~, please?	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。辞書を活用して海外の名所や観光地について問い合わせる正式な手紙を書いている。 【表】：聞き手が理解しやすくなるように工夫して電話で会話している。気持ちを含めてスピーチ原稿を音読することができる。自己紹介の手紙を書くことができる。 【理】：スピーチの原稿を読んで、その要点を読み取ることができる。留守番電話を聞いて、話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。 【言】：不定詞(名詞用法、副用法、形容詞用法)に関する知識を身に付けている。Will you ~, please?で依頼する表現の知識を身に付けている。
	<b>LESSON 7</b> 『Presentation』 わかりやすい発表とは? Get① ・ younger than ~ ・ the youngest in~ Get② ・ more popular than ~ ・ the most popular of ~ Get③ ・ as big as ~ ・ run faster than ~	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。聞き手が理解しやすくなるように工夫してプレゼンテーションしている。 【表】：聞き手に効果的の伝わるように、クラスで人気のあるものについてプレゼンテーションすることができる。 【理】：プレゼンテーションの原稿を読んで、そこに書かれている事実を読み取ることができる。新作ロボットのプレゼンテーションを聞いて、話の全体的な内容を聞き取ることができる。 【言】：比較級、最上級、同等比較(as ~ as . . .)、副詞の比較級に関する知識を身に付けている。
3 学期	●Let's listen⑥ 『新作ロボットのプレゼンテーション』  <b>LESSON 8</b> 『India, My Country』 インドってどんな国? Get① ・ The room is cleaned ~ Get② ・ The room was cleaned by ~ ●Let's Talk⑦ 『買い物しよう』 ・ This shirt is too ~	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。間違うことを恐れず積極的にスピーチに取り組んでいる。間違うことを恐れず積極的に「～ですね」と同意を求めるとる会話に取り組んでいる。 【表】：内容が伝わるようにスピーチ原稿を音読することができる。自分の町の紹介文を書くことができる。 【理】：新聞の記事を読んで、そこに書かれている事実を読み取ることができる。 【言】：受け身形に関する知識を身に付けている。too ~で苦情を言う表現の知識を身に付けている。
	<b>Let's Read 2</b> 『Landmines and Aki Ra』	【関】：音読練習やペアワーク、グループワークなどの活動に積極的に取り組むことができる。 【理】：物語を読んで、その概要を読み取ることができる。

**「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標(5領域)**  
**四日市市立大池中学校**

学年	ステップ	Listening		Speaking		Reading	Writing
			やり取り		発表		
3	6	話し手に聞き返したり、質問したりできるよう、内容を確認しながら聞くことができる。	相手との会話の中でYes/No Questionや疑問文を含む質問を投げかけ、それに応じた回答を得たり、答えたりできる。その中で答える側は合図値を打ったり、つなぎ言葉を使うことができる。	スピーチ原稿を順序立てて作成し、まとまりのある文章で発表できる。また、アイコンタクトや抑揚をつけて発表できる。	様々な文章(物語文や説明文等)を読んで、その概要や要点を理解するとともに、それに対して感想を述べたり、理由を示したりできるよう、自分の考えを持って読むことができる。	身近なテーマについて、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、まとまりのある文章を書くことができる。	
	Let's Listen 5 (英語のスピーチ) Let's Listen 6 (英語の歌)	Lesson 3 USE Speak (会話を広げよう)	Lesson 3 Project 1 (学校の先生紹介) Lesson 5 Project 2 (日本文化を紹介しよう) Lesson 5 Speak (行きたい場所について紹介するスピーチ) Lesson 7 Project 3 (ディスカッション)	Let's Read 1 (物語文) Let's Read 2 (社会貢献) Let's Read 3 (体験手記)	Lesson 1 (好きな言葉についてのスピーチ原稿) Lesson 2 (自己紹介)		
5	5	ゆっくり、はっきりと話されれば、まとまりのある少し長めの英文(会話やアナウンス等)を聞いて、全体の概要や内容の要点を正確に聞き取ることができる。	登場人物の会話内容を理解し、ペアで登場人物になりきり、会話を続けることができる。	自分の好きな言葉を元にスピーチ文を作成して「好きな言葉」、「なぜ好きなか」を明確にした上で相手に伝えることができる。	まとまりのある英文を読んで、あらすじや大切な部分などを正確に読み取り、自分の言葉で内容について簡単に説明することができる。	身近な人や写真、事物の説明などを、文のつながりや文章の構成などを意識して、まとまりのある文章を書くことができる。	
	Let's Listen 1 (動物園のアナウンス) Let's Listen 2 (英語落語「時そば」) Let's Listen 3 (テレビニュース) Let's Listen 4 (旅行案内)	Let's Talk 1 (退席内) Let's Talk 2 (病状を尋ねる) Let's Talk 3 (買い物) Let's Talk 4 (家庭内での会話) Let's Talk 5 (電話での会話)	Lesson 1 (好きな言葉についてのスピーチ)	Lesson 3 (落語) Lesson 7 (自分にとっての英語)	Lesson 4 (物語の要約文) Lesson 6 (人物紹介)		
2	4	簡単なスピーチやなじみのあるトピックについてのプレゼンテーションを聞いて、その大まかな内容を聞き取ることができる。	友達の家や電話、お店などで、許可を求めたり、謝罪したり、苦情を言うなど、自分の気持ちを伝えながら、会話を続けることができる。	聞き手に効果的に伝わるように、自分たちが興味があるものについて、プレゼンテーションすることができる。	まとまりのある英文(説明文等)を読んで、その概要や書き手の意向を読み取り、要点を把握することができる。	自分の興味のある事柄についての基本的な情報を、辞書等を用いて、まとまりのある文章を書くことができる。	
	Let's Listen 6 (プレゼンテーション)	Let's Talk 5~7	Lesson 7 (プレゼンテーション)	Lesson 3 (The Ogasawara Islands) 講演資料 Lesson 4 (Enjoy Sushi) Lesson 8 (India, My country) 説明文 Lesson 5 (Uluru) ガイドブックのコラム Let's Read 2 (Landmines and Aki Ra) 自伝	Lesson 5 USE Write (自分の好きな国についてのエッセイ) Project 2 (自分の夢を紹介)		
3	3	繰り返しや言い換えを交えて、ゆっくりはっきりと話されれば、天気予報やアナウンスを聞いて、自分にとって必要な情報を聞き取ることができる。	身近な暮らしにかかわる事柄について、聞き手に正しく伝えたり、聞き手からの質問に適切に応じたりすることができる。	身近なトピックについて、教科書のモデル文や既習の表現を活用して、自分の考えや気持ち、事実などを話すことができる。	英文の内容を考えながら黙読したり、内容が伝わるように音読することができる。	簡単な語や基礎的な表現を用いて、自らの体験や経験について、書くことができる。	
	Let's Listen 1 (ニュース) Let's Listen 2 (天気予報) Let's Listen 4 (空港・機内のアナウンス) Let's Listen 5 (留守番電話)	Lesson 1 USE Speak (相づち) Lesson 4 USE Speak (確認) Let's Talk 1~4	Lesson 6 (将来の夢のスピーチ)	Lesson 2 (Peter Rabbit) 物語文 Let's Read 1 (A Pot of Poison) とんち話	Lesson 1 (春休みの思い出) Project 1 (有名人を紹介)		
1	2	本人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、自己紹介や身近な話題についての短い英文を聞いて、話し手の伝えたいことを理解することができる。	基本的な語や表現を用いて、自分のことや身の回りの物など、身近な話題について簡単な会話をすることができる。	基本的な語や表現を用いて、絵や写真を見せながら、準備をした上で簡単な人の紹介をや自分の大切なものについて話すことができる。	図や写真などを手がかりに、身近な話題についての短い文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。	基本的な文の決まりに従って、自分や身近な人や物を紹介する文章を書くことができる。	
	Let's Listen 2 (インタビュー) Let's Listen 4 (テレビ番組) Let's Listen 5 (ビデオレター) Let's Listen 6 (昔話)	Lesson 4 (身近な環境問題) Lesson 5 (新しいクラスメート) Let's talk 5~9	Lesson 6 Project 2 (友達や家族など、人の紹介) Project 3 (大切なものを紹介しよう)	Lesson 7 (いろいろなスポーツ) Lesson 8 (外国の中学校生活) Lesson 9 (日本の身近な年中行事) Let's Read (物語)	Lesson 1 (あいさつ・自己紹介) Lesson 2 (人や物の紹介) Lesson 3 Project 1 Project 3 (自己紹介) Lesson 6 Project 2 Project 3 (友達や家族など、人の紹介)		
1	1	本人に向かって、ゆっくりはっきりと話されれば、簡単な英語を聞いて、具体的な行動に移すことができる。	基本的な語や表現を用いて、あいさつや日常的な会話をすることができる。	基本的な語や表現を用いて、簡単な自己紹介、人や物の紹介をすることができる。	アルファベットや身近な暮らしに関わる単語について、正しい発音で読むことができる。	アルファベットの大文字・小文字、単語のつづりをブロック体で書くことができる。	
	Simon Says Classroom English Let's Listen 1(電話) Let's Listen 3(学校生活)	Classroom English Lesson 1 (あいさつ) Let's Talk 1~4	Lesson 1 (自己紹介) Lesson 2 (人や物の紹介) Lesson 3 Project 1 (自己紹介)	Get Ready 1~4	Get Ready 3 (アルファベットを覚えよう)		